

KUMAMOTO



GREEN Rotary-Club

2012-2013年度 テーマ

国際ロータリー

「奉仕を通じて平和を」

R.I. 会長 田中 作次

地区方針

「心をひとつに」

R.I.2720 地区 ガバナー 岡村 泰岳

熊本グリーンR.C.

「絆を深めよう」

熊本グリーンR.C. 会長 山下 佳介

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 佳介 ■幹事：本田 悟士 ■会報担当：江上 泰弘
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリー・クラブ週報



【2012年10月29日】

第1065回

2012-2013年度 第13回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

「我等の生業」(ロータリーソング)

2. 食事と交歓

来訪者の紹介

★ 熊本市域RC

熊本水前寺公園RC 末吉希巳子 君

友情の握手

会長スピーチ 山下 佳介 会長)

末吉希巳子様のご来訪歓迎致します、ご主人で元会員の末吉さんが『水のみばなし』という本を出版されたという事です。おめでとうございます。

また、本日は、江上会員が約2ヶ月間の入院生活を終え、例会に参加されています。久しぶりの例会楽しんで下さい。

昨日は農業委員会で白菜・レタスの植え付けがありました、参加された皆様、お疲れ様でした。私はコンペがあり参加出来ず、申し訳ありませんでした。

さて先週は、ロータリークラブの会合が2つありましたので、ご報告申し上げます。

1つ目は、23日火曜日17時より大庭カバナー補佐の会社事務所で、熊本第3グループによる1M開催についての話し合いがありました。水前寺RCをホストとし、来年の2月23日に開催する事

になりましたので、皆さまよろしくお願ひします。

2つ目は、26日金曜日14時30分よりニュースカイホテルにて、熊本市域17クラブ会長幹事会が開催されました。これは年間4回程定期的に開催されるもので、本田幹事と共に参加して来ました。今回は決まった議題が無かったので、我がクラブよりボウイスカウト日本連盟の寄付金について皆様にご意見を伺いました。殆どのクラブがやらないという事でしたので、我がクラブの参考にさせて頂きました。残りの時間は、17クラブの会長さんによる近況報告がありました。会員増強の報告が中心で、江南RCは49名から4ヶ月で7名増もされたそうです。また会員増強の為の食事会を開いて、1人1人を連れてくるクラブや、5人程のグループに分けて、1年間に1人目標で毎月進捗状況を確認報告しあう等、参考になる話を色々聞くことができました。

幹事報告 本田 悟士 幹事

■ 例会取止め・変更

【熊本東RC】

11月6日(火)の例会は、新入会員歓迎例会のため、同日19:00より居酒屋「肥後の陣屋」にて行います。

【熊本北RC】

11月8日(木)の例会は、熊本グリーンRCとの合同例会のため、11月5日(月)18:30よりホテルキャッスルにて行います。

【熊本西南RC】

11月29日(木)の例会は、定款第6条第1節に基づき、取りやめます。

卓話
予定

- 11/5 ★熊本北RCとの合同例会
「マスコミあれこれ」門垣 逸夫氏(熊本RC直前会長)
- 11/12 石浦 順一 会員
- 11/19 地区ロータリー財団委員長 木村 初氏
- 11/26 会員増強クラブ・フォーラム

【熊本グリーンR.C.ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

【熊本城東RC】

11月26日(月)の例会は「ワイン例会のため、同日18:30より「コート・ド・レーベ縷々(るる)」にて行います。

出席報告

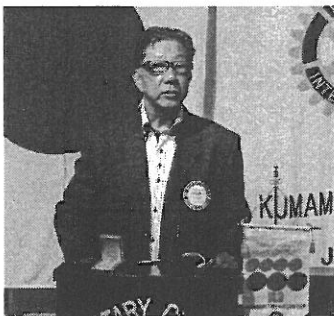
田中 純司 クラブ管理運営委員長

	会員総数	26名	出席率
10月29日	出席免除会員数	1名	72.00%
	計算上会員数	25名	
	出席会員数	18名	
10月15日	前回の出席会員数	18名	83.33%
	メイクアップ数	2名	
	修正出席会員数	20名	
<ul style="list-style-type: none"> ・10/17 熊本東南RC 河島 君 ・10/2 熊本グリーンローターアクト 山下(佳) 君 			

委員会報告

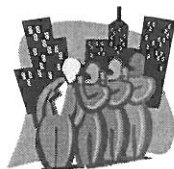
① パスト会長による「3分間スピーチ」

報告者: 上田 観一パスト会長



② 熊本北RCとの合同例会の件

報告者: 山下 隆生 親睦担当長
 キャッスルにて合同例会をして、懇親会は並木坂の「オステリア ダ・ルバクオーレ」にて催します。卓話者は熊本朝日放送の門垣相談役に決まりました。多数のご参加をお待ち致しております。

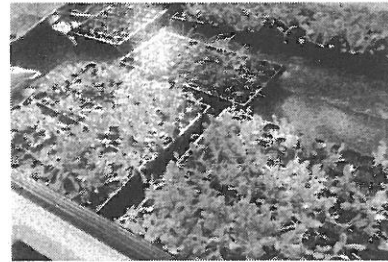


③ 「第4回 チャリティーゴルフ大会」の件。(熊本中央RC主催)

報告者: 山下 隆生 親睦担当長
 日時: 11月21日(水)8:15~ 開会式
 場所: チサンカントリークラブ御船
 ※まだ、1名しか参加者がありません。ご協力をお願いします。

④ 「グリーン農園の野菜の苗植えの報告

報告者: 松村 秀逸 農業委員
 昨日大根やレタスの植え付けをしました。また、後日玉ネギを植え付けたいと思いますのでよろしくお願い致します。



正月野菜の植え付け
 (レタスの苗も順調に育ってます)



正月野菜の植え付け(大根の苗)



正月野菜の植え付け
 (長野会員のお孫さんも一生懸命にお手伝い)



肥料まき

その他の報告

「くまもと水のみばなし」の本の紹介

報告者:末吉希巳子氏(熊本水前寺公園RC)
元グリーンRCの夫である末吉俊一が熊本の水の本を出版しました。水を知ることから始まる熊本の歴史・文化再発見の本です。よろしかったらご一読下さいませようお願い申し上げます。



本の紹介においでになった末吉希巳子氏



「くまもと水のみばなし」の本を紹介

スマイル 仙波 洋八 会員

●山下 佳介 君、本田 悟士 君

「仙波会員の卓話「ロータリーは私に何を与えてくれるか」「仙波会員は私達に何を話してくれるか」を期待して楽しみにしております。それと幹事のわたくし事コーナーですが、今日は豆知識を1つ。死刑判決の場合、主文は後回しになります。」

●末吉希巳子 君(熊本水前寺公園RC)

「冠省 ご無沙汰、失礼続きでお許し下さい。妻をご挨拶に参上させました。ここ暫くは「水を飲んで」頑張っ参りました。おかげさまで「水のみばなし」の本が出来ました。先祖からの遺産であり、熊本の宝である「水」を私なりに纏めたものです。現地主義の取材に徹しました。今までになかったものと、自負しています。皆々様のご高導導のおかげでございます。心から感謝申し上げます。河島さん提案の「能楽堂」など熊本の宝を育てていきたいと思っています。まだまだ水を飲んで頑張ります。末吉 駿一」

●田中 純司 君、山下 隆生 君

①「昨日は、野菜の苗植え作業に参加しました。レタスと白菜の苗の区別もわからず、とりあえず参加したのみでした。中腰はチャットつらく、明日のゴルフは心配です。」「田中より、2回目のロータリーゴルフ参加、ベストスコアー目指して頑張ります。」

●江上 泰弘 君

「退院してまいりました。クラブからお見舞いを頂きありがとうございました。2ヶ月近く入院していて感じたことは、社長が1番の「リストラ候補だ」と思いました。」

●河島 一夫 君

①「江上会員が復帰されました。健康1番です。皆様の健康を祈念しましてスマイル。」
②「バイタリティーあふれる末吉さんの奥さんようこそいらっしゃいました。末吉さんにもスマイル」

●中島 光司 君

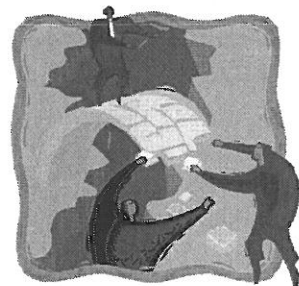
①「本日の卓話者、河島会員、仙波会員にスマイルします。」
②「ジャイアンツ2連勝しました。明日も勝ってもらっておいしいお酒を飲みたいですね!!」
③「昨日は農業委員会大変お疲れ様でした。いつも欠席で申し訳ありません。」

●十時義七郎 君、葉 高源 君、栗山 義則 君、趙 健次 君

「末吉さんのご来訪を歓迎します。また江上会員の病氣全快をお祝いします。また、昨日の熊日の「読者のひろば」に河島会員が能楽堂の建設を提案されていました。立派な文章で、さすがの感を深くしました。」

●仙波 洋八 君

「末吉前会員の奥さん末吉希巳子さんのご来訪を歓迎します。「みずのみ話」の発刊おめでとうございます。文化的素養の無い私には眩しい限りですが、是非読ませて頂きます」

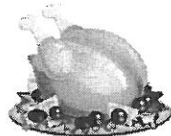


3. 例会プログラム

卓 話

- ①「同好会について」河島 一夫 会員
- ②「ロータリーは私に何をあたえてくれるのか」
仙波 洋八 会員

①「同好会について」河島 一夫 会員



ほろニガ会

- H19. 8.24 キャッスル 九曜紋
- H19.10.18 スリランカ料理
- H20. 2.21 中華料理 ジャンキャンゴー
- H20. 7.24 イタリアン料理 リストラッチ・ミヤモト
- H20.11.20 韓国の宮廷料理 チャングム・キッチン
- H21. 4. 4 フランス料理 塩胡椒
- H21. 6.19 タイ・ベトナム料理 トムヤンクン
- H21. 8.27 ビヤバイキング キャッスル
- H22. 2. 4 ちゃんこ鍋 ちゃんこ大田村
- H22. 5. 6 落合務シェフのイタリアン キャッスル
- H22. 7.14 ビヤバイキング キャッシュル九曜紋
- H22.11. 4 陳健一・陳健太郎親子による中華料理 キャッスル
- H23. 3.17 イタリア料理 オステリア ダ・ルバクオーレ
- H23. 4.26 坂井宏行シェフのフランス料理 キャッスル
- H23. 8.19 韓国焼肉料理 南大門
- H23.11.24 フランス料理 ポナペティ
- H24. 2.16 和食料理 健軍の杜 木斛邸
- H24. 5.27 坂井シェフによるハワイアンキュージーヌ キャッスル
- H24. 8.26 陳健一・陳健太郎親子による中華料理 キャッスル
- H24.10.10 フランス料理 トウルドシャトー(キャッスル)
- H24.12

会費は、年間24,000円です。4期に分けていただいています。
現在会員は、13名です。

2007年度から始まった美味しい料理を食べる会です。
年に4回～5回を考えています。



第3回親睦ゴルフ会 報告

日時:0月30日 9時スタート

場所

阿蘇グリーンヒルカントリークラブ

曇りの天気の中、暑くもなく寒くもない
良いゴルフ日和でした。結果は、松山会
員の単独トップ、ハンディ36がいきなり
次回からは10となりました。松山会員、
おめでとうございます。次はシングルを
目指して、一段と腕を磨いてください。
次回は、11月27日(火)の予定です。場
所は未定です。

【1組目】

松山優喜 廣坂彰雄 山下佳介

【2組目】

仙波洋八 中島光司 山下隆生

【3組目】

河島一夫 長野義文 田中純司

ニアピン No.4 中島光司

ニアピン No.8 中島光司

ニアピン No.11 廣坂彰雄

ニアピン No.17 松山優喜

ドラコン No.3 長野義文

ドラコン No.15 山下佳介

*スコアは7ページをご参照下さい。

News

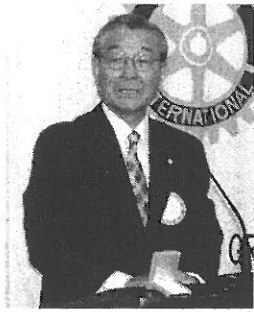


「ロータリー・リーダー」は2年連続で、
「メディア革新: E ニュースレター、一般
優秀カテゴリー (Media Innovation: E
-Newsletter-General Excellence
category)」で優秀賞 (Excel award)
を受賞しました。

ロータリーは私に何を与えてくれるのか

「職業奉仕の落とし穴」「名誉価値と責任」

RI第2720地区研修委員会 副委員長 仙波 洋八



表題は地区研修委員会で勉強しているテーマです。結論が出ている訳ではありませんが、私なりに整理しますと「何も与えてくれない。ただ大いなるチャンスを与えてくれる。それを生かせるか否かは日常のロータリー活動の中で試される」と理解することになっています。ロータリークラブの最大の特徴はあらゆる地域で指導的立場にある人達が集まっている。言い替えればトップレベルの人材が集められている。このような団体は世界広しと言えどもロータリークラブ以外では考えられません。私達は自分がその中に居るということを実感し、先輩諸兄が築いてきた歴史や伝統を受け継ぎ発展させて行こうと覚悟を持つことから始めなければならないと思います。これが後で述べるロータリーにおける「名誉価値と責任」で、全ての前に位置づけられるものだと考えています。

1. 職業奉仕の落とし穴

私はこれまで、三年ほど、まさに諮らずも地区役員を務めてまいりましたが、この間、見たり聴いたり読んだりする中で、ロータリーの基本理念とされている職業奉仕を、どのように理解すればよいのか分らなくなる事がありました。今回「職業奉仕の落とし穴」といういささか衝撃的なテーマにさせて頂いたのは、今一度皆さんに考えてもらいたいと思ったからです。

ロータリーには「23-34号決議」という有名な決議(宣言)があります。基本理念に大きな影響を与えた決議ですので簡単に触れてみます。

アメリカ、オハイオ州のエリアRCに、エドガー・アレンという人が居て、ロータリーは身体障害者の保護や教育など、人道的慈善に手を差し伸べるべきだと提案し、1922年ロスアンゼルス大会で決議案が採択されました。これに対して、職業奉仕、個人奉仕を中心とする内なる奉仕の理念を守ろうとするいわゆる理論派といわれる一団があり、全米をあげて大論争となり、分裂の危機に直面したといわれています。この論争を調停したのが1923年のセントルイス国際大会に提出され採択された34号決議(通称「23-34号」決議)です。これを契機として職業奉仕、個人奉仕がロータリーの基本理念だといわれるようになりました。

しかし、6項目からなる決議文を読んでみてもハッキリしません。人間の考え方を交通整理のように分けることは難しいもので、玉虫色になるのはやむを得ないと思いますが、日本では理論派の解釈が一般的のようです。これを「I Serve」と称しています。一方に「We Serve」というものがあります。思い切って訳しますと「私が奉仕する。」「私たちが奉仕する。」といった違いでしょうか。この「We」の方をやっているのが「クラブだ」とされています。かたや個人的に一方は組織的になると言えます。人間の行動の82~85%が無意識の行動といわれていますので、奉仕の心構えが備わればどちらでも構わないのですが、一方は見え難い、一方は見え易いという結果が生まれてきます。従ってロータリーの知名度が低いとなる訳です。今さら知名度が低いと言って騒ぐのがおかしいとも言えるのですが、何事も世間から評価されないと存在価値そのものが問われかねないし、やる気も起こらないものです。我がクラブによく海外出張をする会員が居ますが「この前ニューヨーク空港のゲートを出たら、目の前にドカーンと大きなロータリーのマークがあったのには、たまがったですバイ」と言っていました。外国では結構外向きの活動が行われているようです。

24年程前、私がロータリーに入った時のことを思い出しました。親しくしていた某医師にロータリーに入ることになった事を話すと「あー、あそこは良か。何もせんで良かけん。」と言われたのです。意味は全く分かりませんが、言葉だけは何故か耳に残っています。入会后3~4年してその意味するところが理解できましたが、私はこれを職業奉仕の落とし穴と考えています。職業奉仕の理念は矮小化されて自己満足に陥る危険を孕んでいることを肝に命じておく必要があると思います。

2. 名誉価値と責任

次に「名誉価値と責任」ということについて考えてみて頂きたいと思います。

1905年、ポールハリスを中心とした4人の仲間が各々の職場を持ち廻って例会を開いていた(ロータリーと称する起源)頃は、幹事が2人居て1人は毎回仲間の売上げをチェックしていたそうです。この頃のロータリークラブはBack Scratching Club(背中を掻き合う仲間)と言われていました。お互いが助け合う互惠の団体だったのです。

アメリカで仕事をしていて福島喜三次氏(三井物産の子会社、東洋綿花社長。後に大阪に転勤、大阪ロータリークラブ設立に寄与)や米山梅吉氏(三井銀行常務)により、東京ロータリークラブが設立されたのが1920年(大正9年)ですが、当時のロータリーの社会的評価は高く、自信に満ちた集団でした。多くの企業人はロータリアンになることを名誉と考え憧れていたのです。当時の資料では「日本のロータリーは、互惠主義から発足したシカゴと違って、初めから超一流人の集会所であった」(井坂孝、RI第70地区ガバナー、横浜RC創立特別代表)と言えるほどに誇り高いものでした。

その約40年後の三省堂英和辞典(岩下誠二熊本第二分区ガバナー補佐調べ)では、「会員は、各地域社会における名士で、各職業を代表する1名に限られる」と記されています。社会的評価はあまり変わっていないように思われます。

それからさらに約40年後の現在、広辞苑を引いてみますと「人道的な奉仕と国際親善を目指す実業人、専門職業人の国際的な社交団体」となっています。ロータリーの評価の変遷を見る思いです。

私達はよく歴史と伝統という言葉を使いますが、歴史は馬齢を重ねても残りますが、伝統は光るもの、価値のあるものが積み重ねられなければ築くことが出来ません。私達は今、何を積み重ねているのだろうかと思ひがあります。

でもしかし、私はロータリアンであることに誇りを持っています。入会させて頂いた頃の感激の思いを持ち続けています。皆様はいかがですか。多くの奉仕団体の中からロータリーを選んだ意味は何でしょうか。多少の差はあってもロータリーという名誉価値のもと結集されていることだと思えます。会員は減少し、財政的に苦しい、寄付の集まりは悪いという中でも、勇気が持てる事象には沢山出合う事が出来ます。

昨年、九州新幹線全線開通記念の駅伝大会が開かれ、その準備で民間人や役所、警察など多くの外部の人々と接触しましたが、ロータリークラブと名乗るだけでストレートに交渉に入る事が出来ました。憶えておられる方も居ると思いますが、駅伝ランナーの後から大型の救命救急車が伴走していました。これは済生会病院が特別に派遣してくれたものですが、(熊本東ロータリークラブ会員、須古名誉院長のご尽力)あの程度の駅伝に「モービルCCU」が伴走するなどということはありません。東京マラソンとここだけでしょう。と驚いていました。高齢者の素人が走ることで心配されていた警察を唸らせる実力がロータリーには残っているのです。熊本県は「くまモン」君の出演を優先的にやってくれました。熊本機能病院の米満理事長、九州車椅子競技連盟の山本行文字務局長も献身的に協力をして下さいました。ロータリーは金持ちのお座敷芸などと陰口を叩かれながらも、物心両面で我が国の社会奉仕の中核団体として大きな存在感を残しているのです。これらは全て100年の歴史と伝統となり得る数々の奉仕活動の上に築かれた社会的評価の賜と言えるでしょう。

超一流人の集会所から、名士の団体、そして社交クラブと社会的評価は下がりっぱなしのように思われますが、それでも燦然とした存在感を残しているのがロータリークラブなのです。

ロータリーの会員は12万人から9万人以下に減っています。大衆化路線ともいえる会員増強運動に取り組んで来てもなを減少傾向は停りをみせません。しかしこれは不況による影響が最大の原因だと思われるので、しばらく我慢をすることが出来ないのでしょうか。組織は大きければ良いというものではないと思えます。損益分岐点などという言葉が飛び交う会員増強であっていいはずはありません。今、お金を集めるのは大変なことで、社会奉仕の中核的存在の米山奨学金制度なども支給対象の減員が検討され、それぞれの地区やクラブでの財政を伴う活動は抑えられ、お金集めは提案することさえ出来ない雰囲気があるとされています。米山奨学会寄付の場合、全国では1名当たり最高寄付クラブは年間13,000円を拠出、最低は1,000円。第2720地区では最高は10,000円、最低は2,000円。これは全国34地区のうち下から5番目です。そこで第2720地区では3年計画で1名当たり年額5,000円にすることを各クラブに要請しています。出費の多い中皆さん大変なことは分かりますが、例えば年間1,000円増額する為のお金は月に83円なのです。今夜飲む缶ビールを発泡酒に替えれば1回でおつりが来ます。飲みに出るのを1回我慢すれば5~6年分調達が出来ます。要は心掛けの問題なのです。「武士は喰わねど高楊枝」とか「やせ我慢は男の美学」と言うように、やってやれない金額ではないものです。金持ちのお座敷芸と陰口を叩かれても、そのことにより多くの社会貢献が行われ、ロータリーの存在感を高め、評価されてきたのですから、わずかの事ならやり繰りして捻出しながら苦しい時代を越えて行くことだと思えます。大衆化路線に反対はしませんが、集団の規律は低い所に定着するというように、目標を低く置けば、モラルまでもが序々に低下して行くものです。ロータリークラブに入会する人はそれくらいの覚悟を持って集まってもらうことが前提であってほしいものです。

RIの方針とは違うことになるかも知れませんが、会員を増やすことが集金目的化したり、損益分岐点などという言葉が飛び交っているのを耳にすると、これはご先祖に申し訳ないぞとの気持ちになってしまいます。メイクアップを前後2週間にしてみたり、出席を取らないようにしようとの声が聞こえてきたり、法人会員制を導入する等々の改革の声を耳にしますと、ロータリーはどこへ向かっているのだろうか、と不安になります。名誉価値を享受するなら名誉を高める努力に参加しなければなりません。

最後に一つだけ。皆さんの出席率はどうなっていますか。私は入会以来100%出席を続けています。いささか誇りに思っていたのですが、今は違います。熊本市内とその周辺には17のクラブがあります。会員は約550名。毎日どこかで例会が開かれています。サインメイクアップという方法まであり、私の去年は4回お世話になりました。一方、地方のクラブはホームクラブを欠席するとメイクアップする場所がほとんどありません。例えば天草ではどうしておられるのでしょうか。私の100%は出来て当たり前前環境の中で達成された威張れない数字なのです。一方地方のクラブの方々の出席率は例え60%であっても内容の濃い中味のある出席率なのです。何を言いたいかと言えば、熊本市内の皆さんが出席率が悪いというのは、ひと言で言えばサボっているのです。その気になれば何時でも何処でもメイクアップがやれます。仕事の関係上やれない人も当然居るとは思いますが、それ以外の人はチョット心掛ければ出来ることをやっていないのです。

ロータリークラブと言えども組織なのです。組織は一定の約束事を守ることで存在が維持されます。

※上記の文章は、10月22日、熊本城東RCでの卓話を要約したものです。これまでいくつかのクラブで、同主旨の内容で話して来ました。また、要請に応じて次のようなことも話していますので連記してみます。

- ・楽しくなければ人は集まらない
- ・CLPの現状と課題
- ・東日本大震災義捐金の取り扱い
- ・ロータリーの組織力は
- ・未来の夢計画の概要
- ・法人会員制とは
- ・外部卓話とエチケット
- ・もし定員制度があったら
- ・クラブ三役とは誰のことが
- ・参加と参画
- ・50文字の魔力



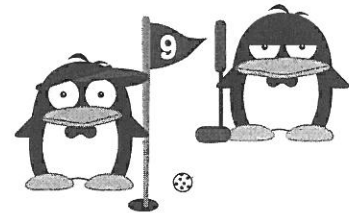
など、地区研修委員会は、木下光一委員長の熱意でこれまで三回勉強会が行われ、11月17日には四回目が行われます。当面の課題は、ロータリーの組織力の強化であり、特にその中核となるガバナー補佐の役割(ナンバー2としての位置付けと自覚)について検討が加えられています。

もう少し早く、クラブの皆さんのご意見をお聴きしたかったのですが、実動が先行してしまいました。上記に関してご意見をお待ち致しております。

4. 点鐘・閉会

ゴルフ結果

日時 2012年10月30日(火)							
グリーンヒル スタート時09時00分スタート							
名前	Out	In	Gross	HDCP	Net	順位	新HD
山下佳介	46	52	98	22	76	2	20
松山優喜	46	43	89	36	53	1	10
廣坂彰雄	53	50	103	15	88	8	
仙波洋八	49	43	92	14	78	4	
中島光司	43	43	86	10	76	3	9
山下隆生	58	57	115	32	83	7	
田中純司	64	61	125	36	89	9	
長野義文	38	43	81	0	81	5	
河島一夫	54	53	107	26	81	6	



明日の人道活動家たち

より良い地域社会を実現するために活動する若い世代を育てよう

若い人たちにとって、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)やロータリー青少年交換は、一生に一度の機会であると言えるでしょう。

第7950地区(米国ロードアイランド州とマサチューセッツ州の一部)のRYLA共同委員長で青少年交換派遣コーディネーターでもあるグレッグ・ガロフォロさんは、「ロータリアンと同じように、新世代プログラムの参加者も、奉仕プロジェクトを通じてより良い地域社会を実現するために、積極的に参加しています」と話します。

理事会は、1月の会合で、すべての新世代活動において、奉仕が重要な要素であることを確認しました。新世代月間である9月、クラブの人的プロジェクトに若い人々に参加してもらうためのヒントをいくつかご紹介します。



フランス、バラクヴィルの湖畔に立つ家の周りを掃除する「Lycée d'Enseignement Professionnel Agricole et Horticole Privé」のインターアクター

- ・ローターアクターとの合同奉仕プロジェクトを計画する。
- ・クラブのボランティア活動に、RYLA参加者や青少年交換学生に参加してもらう。
- ・インターアクターまたは青少年交換学生によるシェルターボックス(ロータリーのプロジェクト・パートナーの一つ)のための募金活動を支援する。
- ・ローターアクターやインターアクターに、ロータリーの6つの重点分野の一つに沿ったプロジェクトを立案するよう奨励する。
- ・地元や海外のローターアクト・クラブ同士で双子クラブの関係を結び、国際奉仕プロジェクトを実施または支援する。

前述のガロフォロさんは次のように話します。「若い人たちは、地域社会が直面する貧しさや、非識字、いじめ、ギャング抗争などの問題を、我々よりも身近なところで見ているため、大きな力となってくれるでしょう」

ご存知でしたか



ロータリーの戦略パートナーの一つ、マーシーシップスとのパッケージ・グラント申請書が利用可能となりました。このパッケージ・グラントでは、未来の夢試験地区のロータリー・クラブが、医療専門家の職業研修チームを集め、マーシーシップスでのボランティアを行うものです。2013-14ロータリー年度に、すべての地区とクラブがパッケージ・グラントに申請可能となります。

ダウンロード可能なビデオを、オンラインショップからお求めいただけます。平和、災害救援やロータリーの活動などを紹介したビデオを選択し、自宅で視聴したり、クラブにご紹介ください。各ビデオは1ドル99セントでダウンロード頂けます。